

第 6 学年 外国語科学習指導案

令和 2 年 1 1 月 1 3 日 (金) 5 校時
6 年 3 組 男子 1 8 名 女子 1 9 名 計 3 7 名
指 導 者 脇 俊 子

1 単元名 Lesson9 My Favorite Memory

2 単元について

(1) 単元の位置

児童はこれまでに、「went to~.」や「saw, ate, enjoyed」などの過去を表す表現について学習してきている。

本単元は、Lesson6「My Summer Vacation」で学んだ表現を生かしながら過去を表す表現を使って、思い出の学校行事について伝え合ったり、尋ね合ったりする学習である。6年生2学期の修学旅行や体育集会という大きな行事を体験し、2学期のまとめをしようとする時季に自らの学校生活を振り返ることは有意義であるといえる。これらを生かしながら学習を進め、過去形を使った表現に親しませながら、正確に表現できる力を身に付けさせたり、これまでの成長を感じさせたい。そして、単元末には、参観日で保護者に伝えるという活動につなげていきたい。

(2) 児童の意識アンケート 調査期日：令和2年9月17日（木）（調査人数：6年3組37名）

A：そう思う B：やや思う C：あまり思わない D：思わない	A	B	C	D
① あなたは英語の学習が好きですか。	11	16	9	1
② 英語で聞いたり話したりする活動は好きですか。	7	19	10	1
③ あなたは英語の文字を読んだり、書いたりする活動は好きですか。	13	12	10	2
④ いろいろな外国のことをもっと知りたいと思いますか。	23	8	6	0
⑤ 英語の授業では、どんな活動が楽しいですか。 (※人数の多かった順)	歌を歌う・単語を言う・アルファベットを書く・英語の表現を読む・ゲーム・外国の話聞く・外国の映像を観る・発表をする・チャッツ			
⑥ 英語の授業で、困ったことはありませんか。 (※人数の多かった順)	ある(27人) ない(10人) 英語を声に出すときに自分の発音が正しいのかどうか・言い方の練習をしたのにインタビューをするときに忘れてしまうとき・4線に単語を書くとき・友達が思っていることを聞きたいのに発表してくれない			
⑦ 学校行事で、これまでに心に残っている思い出やこれから楽しみにしているものは何ですか。 (※人数の多かった順)	修学旅行・体育集会・いつもの授業・クラスのまとまり・学級レクリエーション・昼休み・ミシンでナップザックを作ったこと・体育・朝の長縄練習・みんなで笑ったこと・6年になって友達が増えた・初めて算数で百点とった・朝の会のリコーダー・地層見学・卒業式			

〈考察〉

本意識アンケートから、英語の学習が好きな児童が全体の3分の2と多いことが分かる。中でも、いろいろな外国の伝統や文化等のことをもっと知りたいと答えた児童が多数であった。また、英語を話したり聞いたりする活動よりも、読んだり書いたりする活動が好きな児童が多いことが特徴である。

本学級の児童は、週に2回の外国語の授業を担当やAETやALTと一緒に学び、英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりする活動をしながら楽しさを味わってきている。一方、英語の授業の中で、困ったことがある児童が10人いることが分かった。その理由は、発話に関する不安であると言える。声に出すことに抵抗感がある児童に対して、苦手意識を和らげていくように工夫していかなければならない。

そこで、個別に支援し励ましていくことで、困り感をなくしていくようにしていきたいと考える。

(3) 指導にあたって

児童の実態から、本校の研究テーマ「子どもたちがともに学び合い、一人一人が輝く授業の創造」に迫るためには、「コミュニケーション活動に興味・関心をもち」「見通しをもちながら」「積極的に関わる」児童の主体的な学びが大切である。

そこで、児童の意識調査の結果から、最も心に残っている思い出が「修学旅行」であることを踏まえて、児童の対話的な学びが活発になるための工夫として、場面設定を修学旅行にすることとした。総合的な学習の時間と関連を図った外国語科の授業を進めることで、伝えたい相手を意識しながら、修学旅行の思い出をシートに作り発表していく場面が身近になると考える。そして、児童が「言いたい」「こんなことがあった」「こう思った」ということを事実に基づいて取り上げながら、「What is your favorite memory?」と何度も聞いたり言ったりする場面を設定し、語句や表現に慣れ親しませ、自信をもって表現できるようにしたい。さらに、自分の思いを「My favorite memory is～」と外国語を使って、コミュニケーションにおける「見方・考え方」を働かせながら文を考えさせ、相手に配慮したコミュニケーション活動をさせていきたい。

(4) 研究内容との関連

これまで、「主体的・対話的で深い学び」について、知識の理解をさらに高めていき、確かな学力を育成するためにはどのように学ばせていけばよいのかをモデル授業づくり等をとおして、授業改善に努めてきた。

そこでの授業づくりのポイントは以下のとおりである。

- ア コミュニケーションの目的や場面、状況が明確な単元目標の設定
- イ コミュニケーション活動を相手への十分な配慮を行いながらさせる。
- ウ 「思考・判断・表現」ができるようにさせる。
- エ 目標達成に必要な言語活動の計画的な実施（毎時間の授業）
- オ 児童が自らの学習のまとめと振り返りを行う場の設定
- カ 目標の達成度を児童の姿で的確に把握するために必要な評価の実施

また、授業では、「導入時」に、これまでに学んだことを生かしながらコミュニケーションを図ろうとする主体性を引き出す工夫をしていきたい。次に、「展開時」では、児童が、実際に自分の気持ちや考えを伝え合ったり、対話的な活動を通して広がり深まった考えを基に、簡単な英文で書いてまとめたり、発表させたりするなど、5領域を総合的に使った言語活動を充実させるようにしていきたい。そして、「終末時」では、児童に学習を振り返らせ自らの学びや変容を自覚させ、次時への学びの意欲が高まるようにしていきたい。

さらに、評価に関しては、活動の観察、発表などのパフォーマンス評価、ワークシートなど、様々な場面での児童の姿を的確に評価していきたい。なお、児童の伝えたい思いを大切にするために、単語の取り扱いについては、辞書の利用やALTの活用等の手立てをとりたい。

3 単元の目標

思い出に残る学校行事をシートにまとめて発表するために、学校行事についての簡単な語句や基本的な表現を聞き取ったり、相手に伝える目的をもって、例を参考に簡単な語句や基本的な表現を用いて書いたり、伝え合ったりできる。

4 言語材料

- ・ What is your favorite memory? / My favorite memory is～.
- ・ 学校行事に関する英単語

5 領域別目標と学習指導要領との関連

聞くこと	小学校生活の思い出についての話を聞いて、理解することができる。	イ
読むこと	語句や短い文を推測して読んだり、教科書の物語教材を読んで、英語の語順に気付いたりすることができる。	ア イ
話すこと（やり取り）	小学校生活の思い出について、伝え合うことができる。	ウ
話すこと（発表）	小学校生活の思い出を発表することができる。	イ
書くこと	例文を参考にしながら、思い出に残る学校行事などを書き写すことができる。	イ

6 育成する能力:学習指導要領 英語1 目標(4)話すこと(発表)ウ

身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

7 単元の評価規準

	知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体的に 学習に 取り組む態度	学習 指導 要領 との 関連
	活動の評価規準項目	活動の 評価規準項目	活動の 評価規準項目	
聞く こと	≪知識≫ 小学校生活の学校行事を表す英語表現について理解している。 ・ What is your favorite memory? ・ My favorite memory is～. ・ 学校行事を表す英単語 ≪技能≫ 小学校生活の学校行事を表す英語表現等について、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	心に残る小学校生活の思い出について、友達の具体的な情報をよく知るために、聞き取っている。	心に残る小学校生活の思い出について、友達の具体的な情報をよくするために、聞き取ろうとしている。	イ
	LL2・3	LL2・3	LL2・3	

読むこと	<p>《知識》 小学校生活の学校行事を表す英語表現について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> What is your favorite memory? My favorite memory is～. 学校行事を表す英単語 <p>《技能》 小学校生活の学校行事を表す英語表現等について、推測して読んだり、英語の語順に気付いたりする技能を身に付けている。</p>	<p>心に残る小学校生活の思い出について、語句や短い文を推測して読んだり、教科書教材を読んで、英語の語順に気付いたりしている。</p>	<p>心に残る小学校生活の思い出について、語句や短い文を推測して読もうとしたり、教科書教材を読んで、英語の語順に気付こうとしたりしている。</p>	アイ
	LRT2	LRT2, 文字3	LRT2	
話すこと(やり取り)	<p>《知識》 小学校生活の学校行事を表す英語表現について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> What is your favorite memory? My favorite memory is～. 学校行事を表す英単語 <p>《技能》 小学校生活の学校行事を表す簡単な語句や基本的な表現等を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>心に残る小学校生活の思い出について、自分のことや友達のことについて理解するために、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	<p>心に残る小学校生活の思い出について、自分のことや友達のことについて理解するために、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。</p>	ウ
	LP2・4	LP2・4	LP2・4	
話すこと(発表)	<p>《知識》 小学校生活の学校行事を表す英語表現について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> What is your favorite memory? My favorite memory is～. 学校行事を表す英単語 <p>《技能》 小学校生活の学校行事を表す簡単な語句や基本的な表現を用いて話す技能を身に付けている。</p>	<p>心に残る小学校生活の思い出について、発表している。</p>	<p>心に残る小学校生活の思い出について、発表しようとしている。</p>	イ
	LT	LT	LT	
書くこと	<p>《知識》 小学校生活の学校行事を表す英語表現について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> What is your favorite memory? My favorite memory is～. 学校行事を表す英単語 <p>《技能》 小学校生活の学校行事を表す英語表現について例文を参考に、書く技能を身に付けている。</p>	<p>心に残る小学校生活の思い出について、例文を参考にしながら、書き写している。</p>	<p>心に残る小学校生活の思い出について、例文を参考にしながら、書き写そうとしている。</p>	イ
	LRW1・2	LRW1・2	LRW1・2	

8 単元計画(8時間)

	ねらい	Main activity
第1時	小学校生活の学校行事を表す英語表現に慣れ親しむ。	Learn English expressions that represent elementary favorite memory.
第2時	思い出の学校行事を振り返りながら、世界の学校と比較し異文化を理解する。	While looking back on memories of school events, compare with the schools around the world and know about the different cultures.
第3時	思い出に残る学校行事についての英文を聞きながら、指でなぞることができる。	Understand how to express the past. Interview game
第4時	思い出に残っている好きな学校行事について、英語で相手に伝えることができる。	Share one's impressions of favorite memory.
第5時	4線を意識して、思い出に残っている学校行事シートを作ることができる。	Share one's feelings and state of memories with each other.
第6時	思い出の学校行事シートを完成させたり、発表の練習をしたりする。	Make a brief presentation sheet and to communicate
第7時	伝える相手を意識して、思い出の学校行事シートを発表する。	Present with ingenuity. Share one's memories with one's reasons.
第8時	教科書の物語を聞いたり読んだりして、英語のことばの並び方について考えることができる。	Listen to the story and say it afterwards. Notice the order of words in English.
発展	参観日で保護者に発表する	

9 本時(5/8)時

(1) 目標

4線を意識して、思い出に残っている学校行事シートを作ることができる。

(2) 本時の実際

過程	時間	児童の活動	指導上の留意点	評価	準備
ふれる	7分	Greeting ・ 始めのあいさつをする。 Warming up (既習表現の活用) 1 既習の英語単語を活用したクイズをする。 2 担任の Small Talk を聞く。 ○ 推測しながら聞く。 ○ 聞き取ったことを発表する。	○ 本時の学習意欲をもたせるようにする。 T: Hello. Everyone. How are you? C: I am ○ 児童の負担にならないように楽しませながらする。 ○ Small Talk を聞いて、学校行事シート作りに使う表現の言い方を確認し、作成意欲を高める。 ○ Small talk で表す「目的や場面・状況」を理解させる。 ○ 思い出を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませる。	評価 ※スモールトークを意識して聞き、聞き取った情報をシートに書くことができたか。 必然性	大型 TV 音声 CD 掲示物 Small talk ワークシート 辞書 絵カード デジタル教材
慣れる	3分	Thinking (児童自らめあてを見つける工夫) 3 今日のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 思い出に残る学校行事シートを作ろう。 </div>	○ 単元計画を再確認し、本時の学習の見通しをもたせる。 ○ 前時でふれた英語表現で覚えていることを児童に挙げさせてから、チャンツやゲームを始める。 ○ モデルを示すことで、ルールや方法を確認することができるようにする。 ○ 新たに「できるようになっていくこと」を一人一人に意識させるようにする。		
広げる	10分	Practice (めあての達成を見通した活動に慣れ親しむ) 4 チャンツを歌う。 「思い出チャンツ」 p.5 2 ○ 音声を聞き、リズムよくチャンツをする。 5 【Activity 1】 p.5 3 ○ ポインティングゲームをペアでする。	○ 自分が選んだ思い出について4線を意識してアルファベットの位置を確認しながら書き写させる。 ○ 全ての字がうまらなくてもよいことを伝える。(絵や日本語を使ったり、辞書を利用したりしてもよいことにする。) ○ 自分の書いたシートを読む練習をする。	※4線を意識して学校行事をシートに書くことができたか。 自ら探求	
	20分	Main activities (目的・場面・状況を理解し、思考を働かせる) 6 【Activity 2】 p.5 7 ○ 思い出に残る学校行事の作成をする。 ○ 前時に考えた内容をシートにまとめる。 <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習調整 </div>			
		Activities (活発なやり取りを促す言語活動の工夫) 7 発表の練習をする。			

振り返る	<p>・ペアで行う。</p> <p style="text-align: center;">自己表現</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>コミュニケーション5つのポイント</p> <p>① Smile スマイル</p> <p>② Eye contact アイコンタクト</p> <p>③ Clear voice はっきりと</p> <p>④ Gesture ジェスチャー</p> <p>⑤ Response 反応・うなずき</p> </div> <p>Looking back (児童自らの気づきを促す振り返りの工夫)</p> <p>8 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに書く。 ・発表する。 <p style="text-align: center;">意見交流</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T: How was the class today?</p> </div> <p>9 終わりのあいさつをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T: Let's finish our English lesson.</p> <p>S: Let's finish.</p> <p>T: Good job! That's all for today. Good-bye.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>もっと聞きたい!</p> <p>もっと話したい!</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発表の練習では、相手を意識した会話のため、「コミュニケーションのポイント」を確認する。 ○ 練習を見取りながら、話し方やジェスチャーなどの工夫をするよう声かけをする。 <p style="text-align: center;">本当に伝えたいことを話す</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返る際には、コミュニケーション5つのポイントや授業を通してできたこと等の視点で書くようにさせる。 ○ 英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童の良かったところを称賛する。 ○ 次時の活動を知らせる意欲を持たせる。 	<p>【思：相手に伝わるように工夫しながら思い出を伝え合っている。】</p> <p>【学：工夫しながら、相手に分かりやすく伝えようとしている。】</p> <p>※聞き手に配慮しながら、自分の思いや考えが伝わる発表をするために、過去形の表現や既習の英語表現を活用して工夫し話している</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">児童の使う返し言葉例</p> <p>Very good! Nice!</p> <p>Me too.</p> <p>I see.</p> <p>Wow.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>昨日までは、あまり上手くできなかったけれど、だんだんできるようになってきた!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">英語の時間は楽しい!</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">学びに向かう力</p> </div>
	5分	振り返りシート	

(3) 評価

- 4線を意識して、思い出に残っている学校行事シートを作ることができたか。